

交通安全かわら版

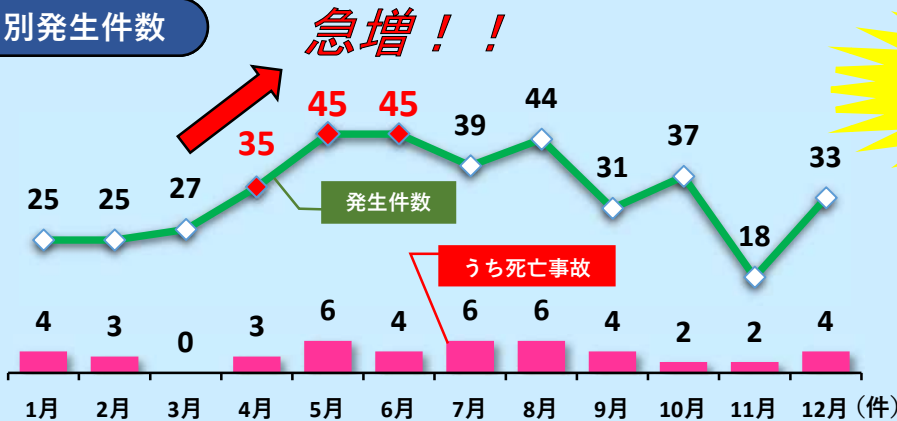
令和6年4月
茨城県警察本部交通総務課
No. 14

～ 農作業に伴う交通事故防止 ～

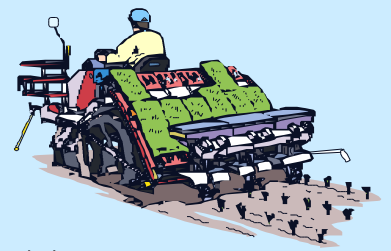
農作業目的の交通事故は4月から急増

農作業目的の人身交通事故発生状況(平成26年～令和5年・10年間累計の発生件数 404件中)

月別発生件数



5月と6月が最多

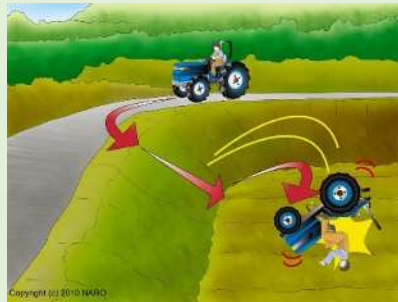


※1 発生件数は、農作業を目的とする者が当事者となった人身事故の件数です。
2 農作業目的には、作物の収穫や搬送及びその行き帰りの他、水田等の見回り等を含みます。
3 「死亡事故」は発生件数の内数です。

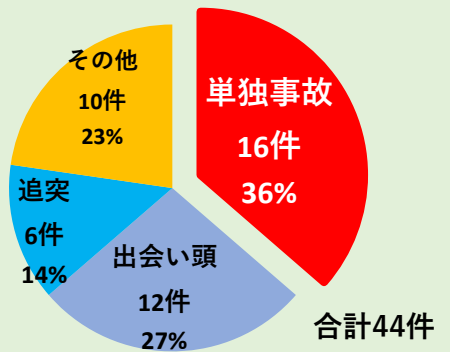
農作業に伴う交通事故の主な形態

○死亡事故件数の約4割が単独事故

さらに、単独事故のうち約8割がハンドル操作ミスによる事故で、用水路や田畑等への転落、または傾斜地等での横転等があります。

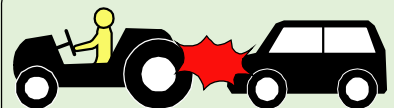


事故類型別死亡事故件数 (平成26年～令和5年合計)



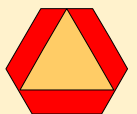
○夜間等における出会い頭や追突事故

夜間は後続車や、道路へ出る際に農機が発見されにくく、出会い頭や追突される事故が起こります。



交通事故の当事者とならないために・・・

- 1 ハンドル操作ミス等による単独事故が多いため、道路状況に応じた確実な運転をしましょう。
- 2 灯火類の点灯や右左折時の方向指示器の点灯を確実にいき、農耕車後部には反射材や低速車マーク等を取り付け、暗くなっても他車から見えるようにしましょう。
- 3 農耕車等が横転した際、運転者が車両の下敷きとなる事故が多いため、シートベルトの装備のある車両は必ず着用しましょう。



低速車
マーク